

十  
五  
年  
戰  
争  
重  
要  
文  
獻  
シ  
リ  
ズ

全20集 = 本体揃価格 190,000円

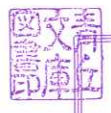
不二出版

「貝志川村警防 日本誌」  
警防日誌  
貝志川村警防 日本誌  
用部幹

HEADQUARTERS  
SUPREME COMMANDER  
ALLIED POWERS  
FILE No. 300-4 BOOK No. #1



ADJUTANT GENERALS OFFICE  
THIS FILE IS THE PROPERTY OF THE RECORDS BRANCH. IF TRANSFERRED TO ANOTHER OFFICE DETACH TRANSFER SLIP UNDER THIS COVER, FILL IN, AND RETURN TO THE RECORDS BRANCH.



朝鮮徵兵準備讀本

朝鮮軍報道部 監修  
朝鮮軍事普及協會編纂

發行所 朝鮮圖書出版株式會社

「十五年戦争極秘資料集」(好評継続刊行済)と共に、近現代史の未解明部分を補う、十五年戦争に関する重要文献・資料!

第1集

軍医官の戦場報告意見集

高崎隆治 編・解説

B5判・200頁・本体価格3,000円 [90年3月刊]

●内容―資料1「戦場神経症並ニ犯罪ニ就テ」(昭13年4月、早尾軍医中尉)
資料2「花柳病ノ積極的豫防法」(昭14年6月、麻生軍医少尉)
資料3「軍人俱樂部ニ関スル規定」(昭19年12月)
真資料(麻生蔵)ノ由来及現況(昭16年2月、安村軍医少佐)
資料1及び資料2は、一九三七年南京攻略戦直後の戦場の状況を、従軍医師の目からみた報告であり、かつそれに対する意見である。「帝国軍隊」と共に行動した慰安所と慰安婦の存在は、既に様々なレポートがあるが、本資料は、軍隊内部にある病根を精神医学的にえぐり出す。付録として、当時の中国大陆における慰安所の写真10点、沖縄における慰安所「規定」を復刻。

第2集

『集報』―南京日本人收容所新聞

山中徳雄 編・解説

B5判・150頁・本体価格2,500円 [90年3月刊]

●内容―南京市日僑集中営管理所発行の新聞『集報』(のちに『更生日報』と改題)、及び『週刊村雀』を収録。発行年月日は、一九四五年11月2日より一九四六年1月23日まで。原紙はタブロイド判、ガリ版印刷。欠号あり。
●敗戦直後、南京における在留日本人は約一万人。高級軍人や政府指導者はいち早く内地へ逃げかえったの対して、南京に残された一般人は一箇所に集められ、集団生活を強いられる。帰国を待ちながら、敗戦直後の思想的混乱の中で、有志によって発行されたこの新聞は、敗戦後の哀歓を克明に綴る人間模様である。編集スタッフには、山中徳雄氏(元大陸新報記者)、草野心平氏(詩人)等の文化人も加わっていた。

第3集

中華民国よりの掠奪文化財総目録

B5判・422頁・本体価格7,500円 [91年1月刊]

●原本―原書名は『中国戦時文物損失数量及估價目録』発行所・発行年月未詳(内容から推察するに、一九四六〇七年頃、中華民国政府により作成されたと思われる)。本書は、判型B5判・並製本で、上欄に華文、下欄に日本語訳を掲載している。
●十五年戦争中、日本軍は諸外国において、どれほどの損害を与えたか。人的・物的損害の数量的統計は何も残されておらず、かつ各国との「戦後賠償」が終っている現在、それを知ることは不可能に近い。本書は日本敗戦直後中華民国政府が作成した、日本軍の中国からの掠奪文化財のリストであり、地図、芸術品等々の損失品名とその見積価格を示し、公私に分類している。

第4集

興亜青年勤労報国隊 東朝義記録

北博昭 編・解説

B5判・267頁・本体価格5,500円 [91年1月刊]

●内容―「興亜青年勤労報国隊」の一部隊(鳥取中隊)の結成(昭和十四年四月)から、解隊(同年十月)までの記録。東朝義氏(現倉吉市在住)の所蔵する、当時の文書、メモ、日記、機関紙等を編集し復刻。
●勤労奉仕という名の集団労役の提供は、昭和一二年七月蘆溝橋事件以来拡大し、長期化する日中戦争を背景に、国民統合の有力な一施策としてあった。本書は、隊員として参加した者のみならず貴重な資料であり、銃後の体制を知る上にも、参考となるであろう。

陸軍
対策ニ資スル所有ラガレ可カラズ。而シテ此等ノ内、人アリテカ或ル物ヲ積極的ニ消極ナリト區別スル趣キアルモ、本症ノ如ク重大社会性ヲ有スル疾病ニ於テハ總テ対策ガ平等ナル發言權ヲ有スルモノナリ。
二娼婦
昨年一月小官上海郊外勤務中、一日命令ニヨリ、新二地へ進出スル娼婦ノ檢査ヲ行ヒタリ。コノ時ノ被檢者ハ半島婦人八十名内地婦人二十名余ニシテ、半島人ノ内花柳病ノ疑ヒアル者ハ極メテテサ教ナリシモ、内地人ノ大部ハ現ニ急性症状ヲ示サズ。其ノ如何ハシキ者ノミニシテ、年齢モ殆ド二十歳ヲ過ギテ四十歳ニナリテ、年長者アリテ既ニ賣淫ノ業ヲ數年終来シ者ノミニナリキ。半島人ノ若年

集報 大陸地の風潮 旅行者の回顧 物産は豊富 情勢の推移 集報 第廿号 壬午五月五日 刊 報 報 報

Table with columns: 委託主, 委託品, 委託品数量, 委託品価格, 委託品備考. Lists various cultural items and their estimated values.

Table titled '第一小隊名簿' (First Squadron Roster) with columns: 代名, 年令, 現住所, 兵種, 備考. Lists names and details of soldiers in the squad.

### 第5集

## 火焰樹——東南アジア強制労働下の機関誌

北博昭編・解説

B5判・206頁・本体価格5,500円（91年8月刊）

●原本『ウッドランド作業隊文化発行『火焰樹』第2号（昭和21年6月）、第3号（7月）、第6号（10月）、第7号（12月）、第8号（昭和22年1月）、第9号（3月）を収録。原誌はB5判、ガリ版印刷。

●太平洋戦争終結後のシンガポールにおいて、俘虜ではなく、降伏日本人として強制労働に従事させられたウッドランド作業隊の文芸誌『火焰樹』。この様な、敗戦後の混乱した状況にあって刊行された機関紙・誌は本シリーズ第2集『集報』のほか、数点しか存在しない。敗戦直後の日本人の心の支えとなり、内地復員を待ちながらの生活を、短歌・随筆等の文化活動によって生き抜いた人々の貴重な証言である。

### 第6集

## 軍紀風紀に関する資料

厚編・解説

B5判・144頁・本体価格4,500円（92年3月刊）

●原本①「支那事変ノ経験ヨリ観タル軍紀振作対策」(昭15・9) ②「軍紀風紀等二関スル情報第五号」(昭17・9) ③「軍紀風紀等二関スル情報第六号」(昭17・12) ④「昭和十七年中ニ於ケル陸軍秘密書類ノ事故二関スル原因調」(昭18・6)、以上「陸密」資料4点。原本はA5判、活版印刷、「部外秘」「秘」。

●「軍紀八軍隊ノ命脈ナリ」(資料①)という認識をもつ旧日本陸軍は、「支那事変」以降、隊内の「軍紀犯ハ平時ノ数倍ニ達シ、就中軍紀上最モ忌ムヘキ上官暴行脅迫同侮辱犯激増シ、逃亡、掠奪、強姦、賭博等ノ悪質犯及経理上ノ非違行為多発シ……」(同)という状況であった。本書は陸軍内部の実際の姿を知る上で貴重な資料である。

### 第7集

## 支那駐屯憲兵隊関係盧溝橋事件期資料

北博昭編・解説

B5判・201頁・本体価格7,500円（92年7月刊）

●内容①「事件前」②支那駐屯憲兵隊服務規定案 ③北支憲兵ノ任務ト時局ノ現況並ニ之方対策ニ関スル講話案 ④北支憲兵ノ任務ト改組案「事件後」⑤北支事変二伴フ占領地統治綱要 ⑥北支作戦軍後方地域ノ行政指導要領 ⑦時局私言 ⑧復命資料。原本はB5判、ガリ版又はタイプ印刷。

●一九三七年七月七日、盧溝橋事件に始まる中全全面衝突に際し、日本の諸機関は、中国への対応策をめぐり、和戦両略の戦略に軍も動き始めた。本資料は、この時期における華地の憲兵隊の動きを知る唯一の資料である。もともと、憲兵隊関係文書は現存するもの極めて少なく、特にこの時期のもの、公的機関に全く架蔵されていない。従って、公刊図書にも収録なし。

### 第8集

## 俘虜情報局・俘虜取扱の記録(附録)

茶園義男編・解説

B5判・415頁・本体価格15,000円（92年7月刊）

●原本『俘虜取扱の記録』俘虜情報局、昭和三〇年発行。ガリ版刷、二八八頁。第一章 連合国俘虜ノ第二章 連合国軍抑留者及衛生部員ノ第三章 俘虜情報局及陸軍省俘虜管理部ノ第四章 連合国俘虜の帰還ノ第五章 俘虜情報局終戦後の業務ノ第六章 銘々票の交換ノ附表ノ内地俘虜収容所分所一覧表、外地俘虜収容所分所一覧表ノ他 附録Ⅱ昭和一六年海軍兵学校軍政学参考書『国際法』活版印刷、一一五頁。

●昭和一六年設置された俘虜情報局内、昭和三二年廃止までの間、主に俘虜銘々票の整理を任していたが、戦後の戦争犯罪裁判における争点の重要な論点である。俘虜の取り扱いについての基本的資料を残した。

火焰樹 巻頭言

あゝあの歴史の瞬間を忘れることは出来ず、暗黒の地獄の行で苦悶し顛倒した捕虜生活の深淵に立ち寄りし水鏡に映る姿であった。

俘虜生活の歴史は民族の志向が決定し、兵隊の心構えが拓けていく。自らを以て更生し脱皮し躍進しようとするならば、捕虜生活に如何に生活するべきかを模索し、再び牙を強さねばならぬ。

不林カ男

目次

表紙 画(美) 初正  
扉紙 字(分) 初正  
扉裏 画(分) 初正  
巻頭言 文(初) 初正  
短歌初歩 詩(初) 初正  
一茶韻賞 詩(初) 初正  
俳句 詩(初) 初正  
日記抄 詩(初) 初正  
創作 詩(初) 初正  
この頃の北支の街 詩(初) 初正  
この頃の北支の街 詩(初) 初正  
飾詞後記 詩(初) 初正

陸密第三八三三號

昭和十七年十二月十九日

陸軍省訓官 川原直一

訓官教育参事 資料トシテ送付ス

軍紀風紀等ニ関スル情報第六號

目次

一、大東亞戦後ニ於テ上官暴行ノ状況  
二、支那事変以來ノ軍内共謀主義運動並ニ非違ノ状況  
三、軍紀風紀ノ原因ナルベキ事ノ要旨整理  
四、幹部ノ職務ハ中心ニ因テハ兇暴非行特多事柄

極秘

支金法第一號

昭和十二年七月

支那駐屯軍参謀部第四隊

北支事変ニ伴フ占領地統治綱要

附表第一の其一

内地俘虜収容所分所一覧表

年	月	日	所名	所在地
一七	年			
一八	年			
一九	年			
二〇	年			

○ 認可  
△ 認可後

第9集

GHQ(マ元帥)処刑命令書(上・下)

茶園義男 編・解説  
B5判・総300頁・揃本体価格280,000円 [92年12月刊]

●原本―米国公文書館所蔵『マ司令部処刑命令書』一四五通。一九四六～一九五〇年の間、マッカーサー元帥の「死刑承認又は不承認」のサインを伴った「軍事委員会命令書」(米陸軍省高級副官部保蔵文書)を、整理し復刻。「人名索引」「解説」「附録」(米軍マニラ裁判に関する規程・米軍マニラ横浜裁判に関する規程・GHQ裁判に関する規程・米軍マニラ横浜裁判全被告人名表)を付し刊行。上巻Ⅱ四六～四八八/下巻Ⅱ四九～五〇年を収録。  
●本書には、戦後の占領目的阻害事件九通を除き、BC級戦犯裁判については三六通の文書を含む。また、従来の説と異なり、マ元帥による三〇件の減刑、五件の無罪釈放が存在することが、本資料により初めて判明す。

第10集

昭和十年 支那駐屯軍憲兵部文書

北 博昭 編・解説  
B5判・2600頁・本体価格6,000円 [92年11月刊]

●原本①〔新派遣憲兵服務参考資料〕昭和八年十一月 ②作戰資料(天津)〔昭和十年九月～十一月〕 ③保安警察目標(昭和十年十月～同十一年) ④華北幫ノ結社普安協会ニ就テ 昭和十一年一月。ガリ版又はタイプ印刷の四点の文書。特に資料②には、天津の市街・風景写真を多数含む。  
●本シリーズ第7集と同様、支那駐屯軍憲兵部の作成した文書。資料①の序文によれば「本指針ハ支那駐屯軍憲兵ノ交代制ニ鑑ミ新派遣者ニ対シ軍憲兵トシテノ服務上ノ資料概念ヲ与ヘンカ為メ蒐録シタルモノ」であり、来たる日中全面衝突を前に、憲兵部の内偵・調査が既に具体的にこなわれていることを示す資料。本資料も極めて稀観である。

第11集

朝鮮徴兵準備読本

金英達 編・解説  
B5判・120頁・本体価格4,500円 [93年5月刊]

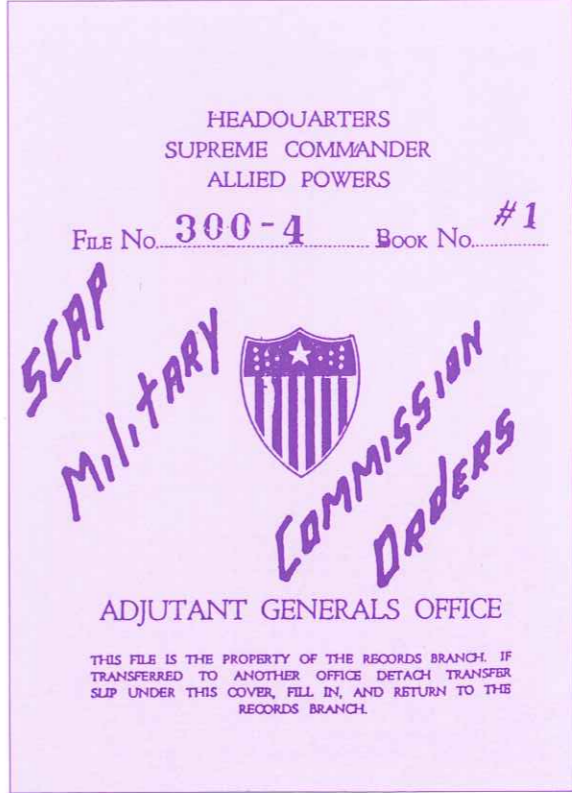
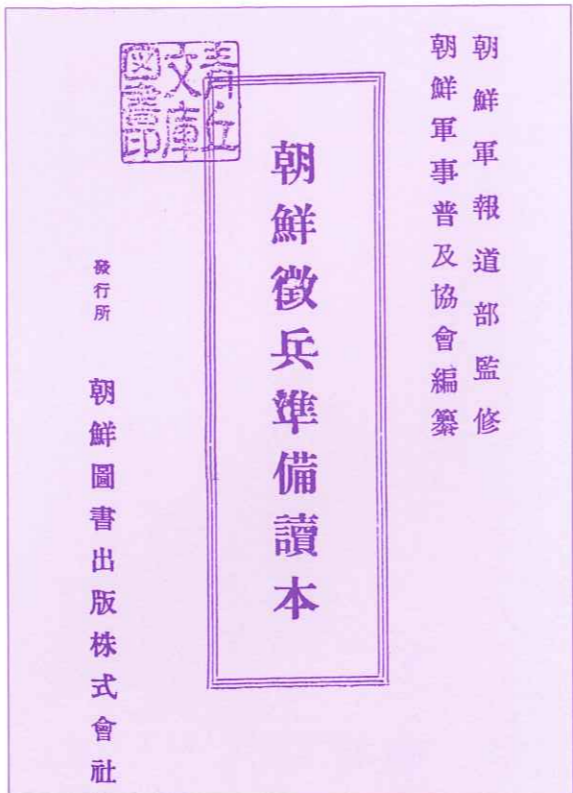
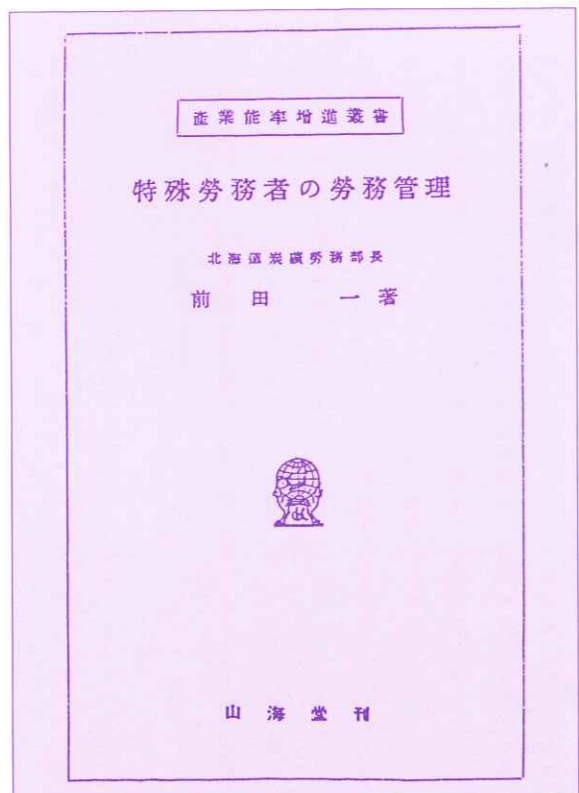
●原本―朝鮮軍報道部監修・朝鮮軍事普及協会編纂『朝鮮徴兵準備読本』昭和十七年十月・朝鮮図書出版(株)発行/B6判・二一九頁 (1)徴兵制度と朝鮮に於ける実施 第一我が国徴兵制度と軍隊の本質 第二徴兵制度実施の理由と意義 第三徴兵制度実施と半島同胞 (2)徴兵制度に必ずべき修練と準備 第一精神の修練が最も肝要 第二陸軍の本領と制度及規則 第三軍隊内の生活とその基準 第四陸軍幹部となるには (3)附録「半島青年の歌」他  
●植民地朝鮮における日本帝国主義による朝鮮人の兵力動員は、志願兵制度と徴兵制度の二段階を経て実施された。本書は、徴兵制実施を前に、日本軍自らが朝鮮人に対して「日本の軍隊とは何ぞや」と説教した本である。

第12集

特殊労務者の労務管理

飛田雄一 編・解説  
B5判・300頁・本体価格7,500円 [93年5月刊]

●原本―前田一(北海道炭礦労務部長)著『特殊労務者の労務管理』昭和八年一月・山海堂発行(産業能率増進叢書) A5判・二八六頁・並製本。前篇 鮮人 第一章 鮮人移入と官庁の方針 第二章 鮮人労務者の募集並に輸送 第三章 鮮人の訓練とその効果 第四章 作業面に於ける鮮人 第五章 鮮人寄宿舍他 後篇 苦力 第一章 総説 第二章 難民的苦力 第三章 既経験苦力 第四章 農民層の募集苦力 他/附録『概況』昭和八年一月、石門臨時俘虜収容所発行の「俘虜収容所概況」。  
●戦後、日経連の「闘将」として総評議長太田薫らと攻防をくりひろげた前田一の著書。朝鮮人・中国人の強制連行・強制労働のための企業側の「マニュアル」。



第13集

大東亜舞台芸術研究所関係資料

千田是也序／藤田富士男 編・解説

B5判・140頁・本体価格4,500円(93年6月刊)

●内容 千田是也所蔵「大東亜舞台芸術研究所(一九四四—一九四五)」ファイル。原稿・タイプ刷文書等一三点を整理して復刻。資料1 大東亜文化運動：「太陽の劇場」：建設要旨／資料4 「太陽運動」：趣意並に企画伊藤道郎 大村謙太郎／資料6 「太陽の劇場」中央機構／資料8 大東亜舞台芸術研究所定款草案／資料10 大東亜舞台芸術研究所職別草案／資料13 「大東亜舞台芸術研究所」設立趣旨／その他

●千田是也氏の実兄・伊藤道郎は、永いアメリカ生活中に屈指の舞踊家として名を馳せた。しかし、日米開戦により拘留、捕虜交換船で帰国、非常時にもかかわらず太陽の劇場の構想を展開。俳優座の基礎もここから生れた。

第14集

満州建設勤勞奉仕隊関係資料

北博昭 編・解説

B5判・626頁・本体価格18,000円(93年6月刊)

●原本 文部省社会教育局「満州建設勤勞奉仕隊概要」昭和十六年十一月 秘A5判・並製本・五四七頁。(附録) 満州建設勤勞奉仕隊中央実践本部「満州建設勤勞奉仕隊要綱」康德六年五月 A5判・三九頁。序文——「本書は昭和十四年度実施の興亜青年勤勞報國隊及び昭和十五年、昭和十六年度に於て実施の満州建設勤勞奉仕隊の内青年隊に関する実施概要、主なる通牒、資料、報告書等を抄録して本事業関係者の参考に資せんとするものである」。

●十五年戦争末期の「総力戦体制」は、特に青少年・学生に対して、様々な形で「奉仕」活動も生みだす。本書は、その一形態としての「勤勞奉仕隊」の基本資料。

第15集

『中国人日本留學史稿』

小川博 編・解説

B5判・200頁・本体価格5,500円(93年6月刊)

●原本 實藤恵秀著『中国人日本留學史稿』昭和十四年三月刊、財団法人日華学会発行。A5判・並製本・三六八頁。(附録) さねとうけいしゅう著「中国人早大留學小史」『東洋文学研究』第一六号、一九六八年、早稲田大学東洋文学会。A5判、二七頁。(本稿は、早大退職時の最終講義の記録である。)

●中国人の日本留學史の研究に一生をささげた實藤恵秀氏の著作の中で、最初の著書。日中戦争開始直後という状況にありながら、氏の研究の真髓がうかがえる好著。

第16集

興亞學生勤勞報國隊関係資料

北博昭 編・解説

B5判・570頁・本体価格17,000円(94年1月刊)

●原本 ①文部省教学局「興亞學生勤勞報國隊報告書」昭和十六年三月刊、A5判、並製本、三七二頁。②文部省教学局「興亞學生勤勞報國隊／満州建設勤勞奉仕隊 農業学校隊報告書」昭和十七年三月刊、A5判、並製本、一八〇頁。(内容) ①は、「満州建設勤勞奉仕隊」「北支及蒙疆派遣隊」「中支派遣隊」に分け、各々「行動日誌」と「感想」を記述している。

●本シリーズ第14集の関連基本図書。特に、学生勤勞報國隊については未解明部分が多く、本書は学生の行動日誌と感想文を多数集録し、その謎を解く手掛りを与える。

——太陽運動——

「太陽の劇場」中央機構の概要

一、中央部

「太陽運動」は「日本」を世界に光輝する運動である。従ってその運動は「日本」の展開に必要なあらゆる面に亘る。即ち「中央部」はこれら運動の最高統制機能である。

苛烈なる現職下、展開される大東亜共榮圈内の諸民族に對する「太陽運動」の最も強的に實現し得る方法を藝術活動に見出す。従って以下「太陽運動」のこの面に必要なる機構の性格及び説明をする。性格——従来の米英的思想を持つ役者根性、營利根性を徹底的に粉碎せる、全く清新にして、眞に氣邁なる、日本の性格の藝術指導者

秘

昭和十六年十一月

滿洲建設勤勞奉仕隊概要

文部省社会教育局

昭和十四年三月

實藤恵秀 著

中国人日本留學史稿

財団法人日華學會

昭和十六年三月

興亞學生勤勞報國隊報告書

敎 學 局

第17集

興亜院刊行図書・雑誌目録

井村哲郎 編・解説

B5判・300頁・本体価格7,500円(94年6月刊)

●原本―大東亜省刊『興亜院調査報告総目録』(昭和十八年六月、調査資料第14号) 秘 B5判・並製本・一八三頁。「本目録は昭和十三年末興亜院設置以来昭和十七年三月末に至るまでの間に於て、本院に於て作成し又は接受したる興亜院関係調査報告類の総目録である。前編は所載事項別分類に依り、後編は報告部所別分類に依り配列した」

●―「大東亜共栄圏」構想をささげる興亜院の設置(38年)と、その膨大な調査研究報告類の全容は、未だ不明の部分が多い。本書は、その疑問を解く手掛りを与え、興亜院(後、大東亜省)の役割を解明する。

第18集

久米島住民虐殺事件資料

吉浜巖 編・解説

B5判・210頁・本体価格6,500円(94年7月刊)

●内容①具志川村警防団「昭和二十年 連絡書類」②具志川村警防団本部「昭和二十年三月七日起 警防日誌」③「元通信従業員沖繩戦記 久米島郵便局之部」(51年4月)④「朝日新聞」昭和47年8月8日「証拠の旧軍文書みつかる」以上、沖縄県立平和祈念資料館及び吉浜巖氏所蔵資料を復刻。一部判読しえない部分は、書きおこした。

●―十五年戦争末期の昭和20年、沖縄・久米島で、スパイ容疑をかけられた住民多数が旧日本軍により殺された事件についての資料。旧軍の犯罪行為を裏付ける貴重な資料である。

第19集

学生義勇軍関係資料

北博昭 編・解説

B5判・220頁・本体価格15,000円(94年12月刊)

●内容―主に学生義勇軍本部発行①『学生義勇軍の回想』(昭14)②『学生義勇軍 第一巻第一号』(昭15)③『学生義勇軍の再出発に際して』(同)④『学生義勇軍 第二号』(昭16)⑤『学生と鍛錬』(同)⑥『建設―学生義勇軍叢書4』(同)⑦『護国』(同)⑧『勤労と体位の向上』(昭17) (付)『大陸衛生』(昭14) 以上9点の資料を収録。

●―十五年戦争下、大衆動員組織のひとつ「学生義勇軍」に関する資料。学期間の休暇中に勤労奉仕に従事した、約五千名におよぶ学徒の記録であり、奉仕作業をとおして、国家に役立つ自己形成を目的とした。

第20集

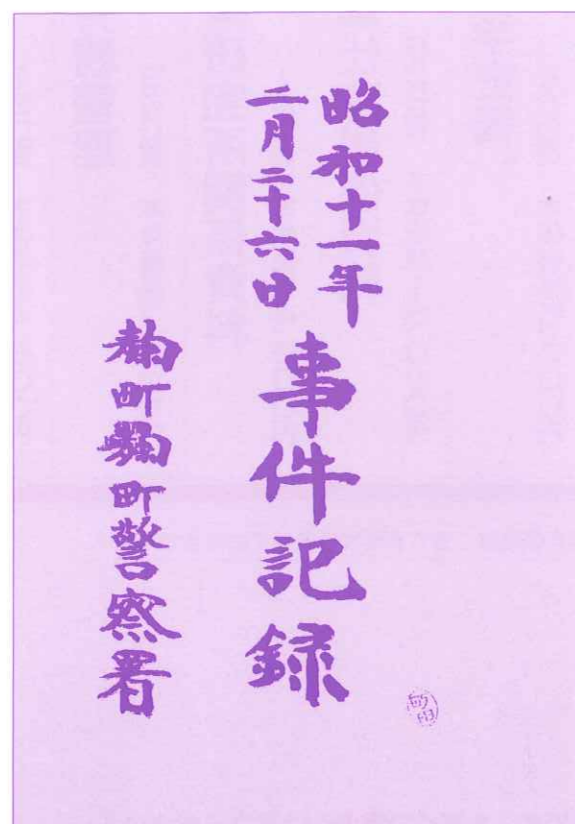
二・二六事件 警察秘録

北博昭 編・解説

B5判・300頁・本体価格16,000円(95年2月刊)

●内容―資料1『昭和十一年二月二十六日 事件記録』(麹町警察署 昭和十一年八月) 第一 帝都叛乱事件の概要/第二 事変ニ於ケル当署員ノ活動/第三 叛乱軍ノ行動概要並処分/第四 叛乱軍ノ鎮圧/第五 事変ニ因ル内閣総辞職/資料2〔標題なし〕①首相官邸関係 ②侍従長官邸関係 ③検案書其他 ④二・二六事件報告文 以上麹町警察署作成の二資料を収録。

●―今日まで二・二六事件に関する記録は、憲兵、検察、裁判記録などがあるが、警察のものは極めて少ない。本資料は、実践部隊である警察側の初出の一次史料である。事件史の空白を埋める文献。



<p>① 軍医官の戦場報告意見集 高崎隆治 編・解説 200頁 本体価格3,000円</p>	<p>② 『集報』—南京日本人収容所新聞 山中徳雄 編・解説 150頁 本体価格2,500円</p>	<p>③ 中華民国よりの掠奪文化財総目録 422頁 本体価格7,500円</p>	<p>④ 興亜青年勤労報国隊 東朝義記録 北博昭 編・解説 207頁 本体価格5,500円</p>	<p>⑤ 火焰樹——東南アジア強制労働下の機関誌 北博昭 編・解説 286頁 本体価格5,500円</p>	<p>⑥ 軍紀・風紀に関する資料 額額 厚編・解説 164頁 本体価格4,500円</p>	<p>⑦ 支那駐屯憲兵隊関係盧溝橋事件期資料 北博昭 編・解説 300頁 本体価格7,500円</p>	<p>⑧ 俘虜情報局・俘虜取扱の記録 茶園義男 編・解説 420頁 本体価格15,000円 <small>(付海軍兵学校『国際法』)</small></p>	<p>⑨ G.H.Q.(マ元帥)処刑命令書(上・下) 茶園義男 編・解説 803頁 本体価格28,000円</p>	<p>⑩ 昭和十年前後期 支那駐屯軍憲兵部文書 北博昭 編・解説 206頁 本体価格9,000円</p>	<p>⑪ 朝鮮徴兵準備読本 金英達 編・解説 120頁 本体価格4,500円</p>	<p>⑫ 特殊労務者の労務管理 飛田雄一 編・解説 300頁 本体価格7,500円</p>	<p>⑬ 大東亜舞台芸術研究所関係資料 藤田富士男 編・解説 140頁 本体価格4,500円</p>	<p>⑭ 満州建設勤労奉仕隊関係資料 北博昭 編・解説 926頁 本体価格18,000円</p>	<p>⑮ 『中国人日本留学史稿』 小川 博 編・解説 200頁 本体価格5,500円</p>	<p>⑯ 興亜学生勤労報国隊関係資料 北博昭 編・解説 598頁 本体価格17,000円</p>	<p>⑰ 興亜院刊行図書・雑誌目録 井村哲郎 編・解説 300頁 本体価格7,500円</p>	<p>⑱ 久米島住民虐殺事件資料 吉浜 巖 編・解説 210頁 本体価格6,500円</p>	<p>⑲ 学生義勇軍関係資料 北博昭 編・解説 325頁 本体価格15,000円</p>	<p>⑳ 二・二六事件 警察秘録 北博昭 編・解説 380頁 本体価格16,000円</p>
--	--	--	---	---	---	---	--	---	--	--	---	--	--	--	--	---	--	--	--

本カタログ中の表示価格は、全て消費税を含んでおりません。

不二出版

〒113 東京都文京区向丘一丁目二  
TEL 03-3811-4433  
FAX 03-3811-4464  
振替 00160294084

※弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。